

中国景德镇市への派遣事業 報告書

学校名: 瀬戸高等学校

本事業への参加を希望した理由・きっかけ

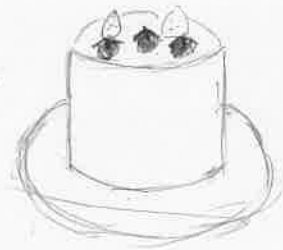
日本と中国の食の違い、文化の違いを知りたいと思ったから。

実際に訪問して学んだこと、得たこと、感想など

<食の違い>

日本ではトーストは野菜として中国はフルーツとしていす。

トーストが入ったケーキ



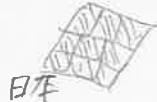
<建物>

日本: 一軒家がが多い。空き地が少ない。荒れているところが多い。

中国: エンタテインメントが多い。空き地も多く公園などは整備されている。

建物

日本



中国

<売店>

日本: 色々なものを販売している店が多い。

中国: 同じものが多くあった。カフェなど



<文化>

日本: 正月には、仕事をしている人が多い。料理の味は薄い。トイレトペーパーは流せる。

中国: 正月は、中国としては一番重要な祝日なので工場などの仕事はすべてストップする。

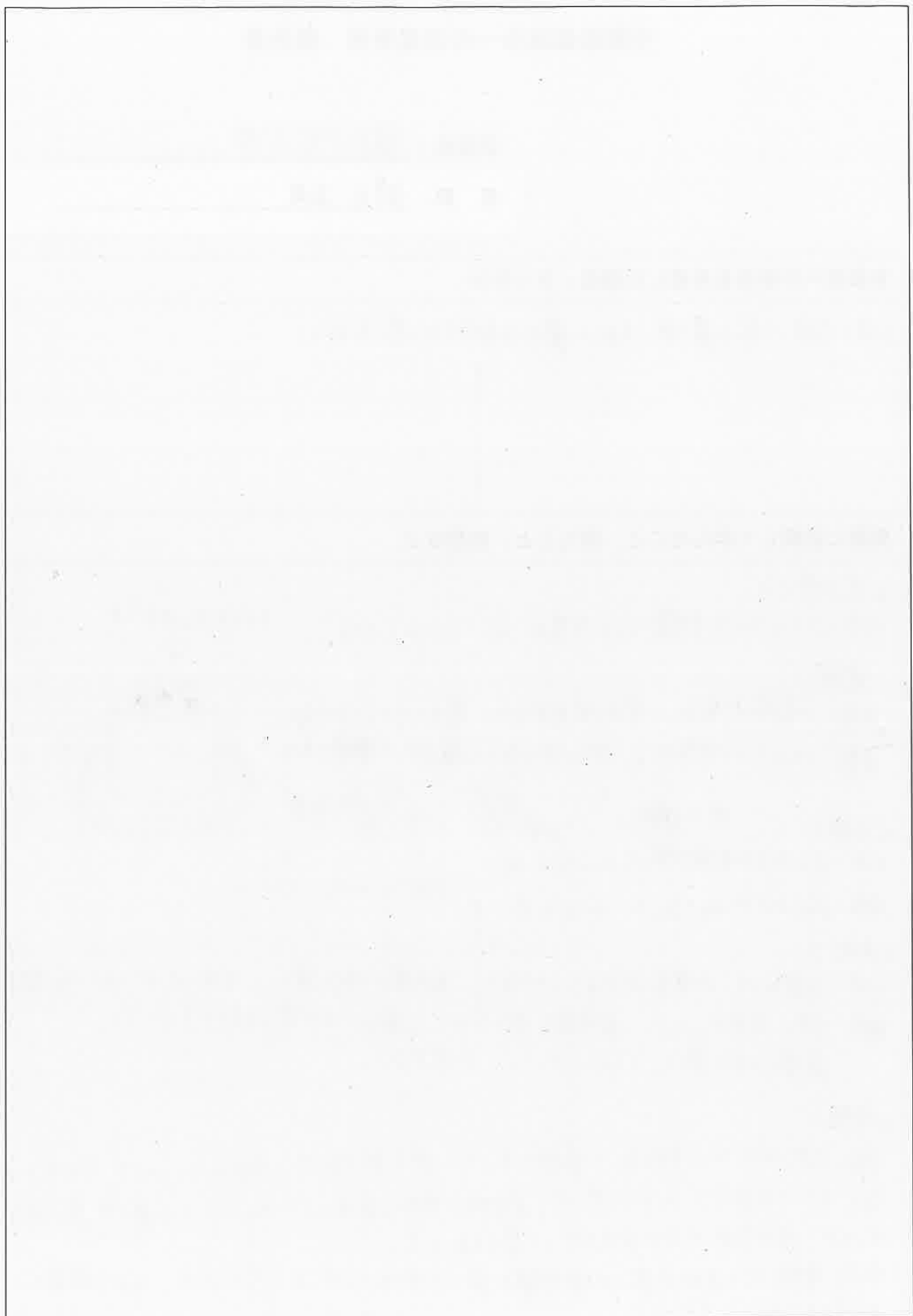
料理の味は濃い。トイレトペーパーは流せない。

<感想>

中国と日本は似ている所もあって場所によっては違う所もあった。中国のエンタテインメントは同じものが多く、上にツメあげているように思った。食べ物も意外と美味しく、ちょうどいい量で食べやすかった。油が多かったのが食べると胃も悪化した。

今回中国に行き文化の違いや価値観の違いを知ることができたと思いました。そして将来に生かされるようにしたいです。

※不足する場合は裏面に書いてください



中国景德镇市への派遣事業 報告書

学校名： 瀬戸高等学校

本事業への参加を希望した理由・きっかけ

父や曾祖父が中国に留学していたのを聞いて、中国はどんな場所か自分の目で見たかったから。

こんな機会 2 度 とならと思ったから。

自分の視野を広げたかったから。

実際に訪問して学んだこと、得たこと、感想など

・中国の料理は油が多く、火少めものが多く感じた。

・瀬戸は大きなかまぼこ型の釜で陶器を焼いているが、昔の中国では地面で焼いていたように見えた。

・現地の人々がフレンドリーだった。日本と中国の抹茶は違った。中国の抹茶は抹茶と紅茶を混ぜたような味だった。

・絵付けを体験して、黒色だった液体が焼き上がったときに青色になっていて不思議に思った。

・日本よりも自然が多く感じた。先生が多く整備されていてきれいだった。

・瀬戸市は色で模様をつけているものが多く、景德镇市は

粘土で模様をつけているものが多く感じた。

今回、景德镇市への派遣事業に参加して、たくさんことに気づき驚かさせられました。一番驚いたことは、バイクです。ヘルメットを被らずに運転していたり、二人乗りしたり、三人乗りの人もいました。バイクの数が

多いのが、バイク専用の道路もあつました。このような貴重な体験ができてとても良かったです。一生残る思い出になりました。

※不足する場合は裏面に書いてください

中国景德镇市への派遣事業 報告書

学校名: 愛知県立瀬戸高等学校

本事業への参加を希望した理由・きっかけ

3月にオーストラリアに行った時、文化の違いを現地で体験しとてもいい経験をしたので
今回この中国景德镇市への派遣事業にも参加したいと思いました。
瀬戸焼と景德镇で作られる焼き物の違いや、食文化の違いを学びたいと思いました。

実際に訪問して学んだこと、得たこと、感想など

1日目で中国に到着しました。
2日目、南昌で2024国際友好都市青年エリート対話会に参加しました。
そこには様々な国籍の人がいて、話すことはできなかったけれど軽く会釈してくれる人がいて
嬉しかったです。博物館には様々な歴史のあるものが置いてありすごかったです。
南昌市VR産業基地ではVRの体験をしました。日本でもVRを体験したことはなかったので初めての
経験でした。その後、エフォーチャージャーに100元分使ってぬいぐるみを2つゲットできたので嬉しかったです。
日本より物価が安いので気軽にできました。夜の交流大会では中国の伝統の服と踊りを見ました。
とても綺麗で感動しました。他の日本人の友達が出し物をする時、TikTokで有名な中国のダンスを
踊っていて、現地の人々がすごく喜んでいたので共通で知っているものがあるっていいなと思いました。
3日目、景德镇陶磁技術学院を訪問しました。その時、生徒さんと写真も撮れたしインスタも交換で
きたのでとても嬉しかったです。陶磁作りの体験で、まず後付けの体験ではアロの人がやるよりも
うまくできず苦戦しました。陶磁を実際に作る時、想像以上に水加減や加える力加減が
難しかったです。工程は瀬戸物と似ているなと思いました。陶源谷の見学では、最後の自由時間
で行ったカフェで飲んだドリンクがとても美味しくて印象的でした。産業遺跡博物館では沢山の陶磁
に関わった偉い人の写真を見ました。作る場所？は人が入れるとても大きな場所でした。お皿などの
デザインは瀬戸物と割と似ているなと思いました。そのあと自由時間でコンビニに行ったら、とても
親切な店員さんが同じ年くらいだったし、おつりを少なめにもらってりと驚くことばかりでした。
茶細は本当に広大で、領土が大きいのもあると思うけれど場所が開けていてすごく綺麗
でした。ジャスミン茶も買って満足しました。
最後、スーパーマーケットに行くと水槽に魚が泳いでいてあれをそのまま買うのかな、と驚きま
した。面白いお菓子も沢山買えました。物価が安いのも買って良かったなと思います。
市場で買ったイタゴの飲み物は中国で飲んだ物の中で一番美味しかったです。

※不足する場合は裏面に書いてください

中国ではプレスレットが至る所で売っていました。お土産に買えました。

物を買った時、一瞬リュックのサイドポケットにスマホを入れていたら店員さんに「盗まれちゃりからちゃんと持っておきなよ。」と言われて気遣いがとても嬉しかったです。

ご飯は日本で見ると中華料理とは全然違って、本場って感じの料理がほとんどでした。

正直口には合わなかったけれど、チャレンジ精神で色々な料理を食べることができました。

スッポンを始めて食べたのですが、意外と美味しくて驚きました。

いざ帰るとなると寂しくて悲しかったです。機会があれば、また個人的に景德镇や南昌、上海に観光に来たいと思いました。

中国景德镇市への派遣事業 報告書

学校名: 瀬戸高校

本事業への参加を希望した理由・きっかけ

今回の中国派遣事業の参加を希望したきっかけは、全校集会の時にこの話を聞いて、今まで海外に行けた経験がなかったので行ってみたいと思い、両親や友人に相談したところ、両親は良い機会だから行っておいてと背中を押してくれて、友人は俺も気になってたから一緒に応募しようと言ってくれたことで本事業への参加を希望するに至りました。

実際に訪問して学んだこと、得たこと、感想など

1日目

1日目は、移動とホテルのチェックインのみでしたが中国派遣組の人とも話すことが出来て、仲を深めることが出来ました。また、移動中の外に視線を向けた際にも、日本とは一風変わった風景が立ち並んでいて、外を眺めているだけでも新鮮さを感じられました。

2日目

2日目には、色々な国から来た人が対話をしていて、内容は、人工知能と世界経済発展、職業教育と芸術革新、文化交流と民間交流を通じた相互理解の以上3つのことについて話していたのを聞いていました。3つともすべて自分に関係することや、興味があるもので、来れてよかったなと心の底から思うのと同時に、とても楽しい時間でした。その後は、漢代海昏侯国遺址博物館へ行きました。ここでは中国の歴史や学校では習わないようなこと、そこに行かないと見れないような物も見られました。次にVR産業基地へ行き、中国の最新技術を体験してきました。ここではVRを頭につけてジェットコースターを体験したりなどを行いました。その後は、中韓青年友好交流大会へ行き、中国の方の出し物を見たり、自分たち

の練習をしいったソーラン節やウイズを披露しました。中国の方の出し物は、とても幻想的で、それでいてものすごく美しい仕上がりでした。

3日目

3日目では、景德鎮陶磁技術学院へ訪問をして、学生が作って準備をしていてくれたウイズに参加をして、正解をしたら、その学生達が作っているお茶や、コップなどがもらえました。その後は移動をして陶磁器の絵付け体験をしました。自分のテーブルはその際に、焼くと色が青くなるという黒色のやつを混ぜすぎるととても青くなってしまいました。その後はロクロ体験をしました。水加減や、意外と力が入るといいうコツがつかめなくてあまり上手にはできませんでした。

4日目

4日目は中国の焼き物の遺跡を見たり、博物館に行ったりしました。遺跡では、昔の中国の街並みが象印にのっています。夜になると地面がライトアップするらしいのですが見れなくて少し残念でした。博物館では、けいあけ君が取材やテレビの動画を撮ったりして、本当に日本と中国の交流なんだなと新めて実感しました。夜には日本でいうアラトレットのような街並みの場所で、買い物もできて楽しかったです。

5日目

この日はヘリコプターの科学技術館と夜にとっても迫力のあるパフォーマンスを見ました。ヘリコプタの所では、戦時に中国が使っていた機体など、さまざまな物がありました。夜のパフォーマンスは、ストーリーがあって本当に圧巻の抑えて、鳥肌が立つのを感じました。

6日目

この日は、あごく活気の溢れるマーケットで買い物をして楽しみました。すごくたくさんのデザインのアクセサリや、キャラクターのマグネットや食器が売られていて、たくさん買ってしまいました。またその時に初めて値下げ交渉が出てとても良い経験が出来たと実感しています。

7日目 ... 帰国

中国で過ごすこの7日間はとても充実していて言葉で表す言葉が分からないほどに楽しかったです。また、少しでも中国の事が分かった気がして、とても満足して日本に帰ってくる事が出来ました。

中国景德镇市への派遣事業 報告書

学校名：

瀬戸高等学校

本事業への参加を希望した理由・きっかけ

1番の理由が、海外に興味があったからです。
他言語のコミュニケーション力を向上させたり、未知の場所に行く
というチャレンジがしたかったからです。
そんな時に本事業の募集があり、絶好なチャンスだと思いました。

実際に訪問して学んだこと、得たこと、感想など

1日目 ～名古屋空港から上海空港へ～

フライト時間 約2時間 南昌市のホテルに移動して、その日は
寝ました。

2日目 ～2024 国際友好都市青年エリート対話～

中国と友好条約のある国の代表が、1人ずつ、プレゼンを行う場に
聞く側として参加しました。

その数ある話の中で、一番印象に残っている話題が、シンガポールの方がプレゼン
していた「エコバック開発について」です。その話の中では、
「パスポートなしで簡単にゲートを通れるようにする、やレーンの上を歩くだけで
荷物検査ができるなど、近未来に実現可能なビジネスについて話して
ました。

「What we see」を標語にしているらしく、後から調べたら、「私たちが見ているもの」
という意味で、その時に世界が、どれだけ発展しているか、目の当たりにできた気が
しました。

そして夜には、「中日青年友好交流会」に出席して、中国からは、扇を使った「花扇踊り」
や中国衣装のファッションショーなどを見ました。僕たちからは、ソーラン節と日本のクイズ
をしました。瀬戸市のマスコットキャラクターをクイズで伝えました。
中国の踊りや衣装は、とても華やかで、目が釘付けになりました。

3日目 景德鎮市へ移動 ～景德鎮陶磁技術師学院訪問～

景德鎮へ移動し、陶磁器について勉強している大学生と交流しました。ろくろ回しや、絵付け体験をさせてもらい、大学生の使った作品も拝見させてもらいました。日本とは違い、糸白の少ない派手な絵が多い印象を持ちました。

4日目 ～VR産業基地見学、ヘリコプター科学館見学、～

この日は、特に中国の発展している技術に触れることができた日でした。VR体験もやらせてもらい、初めての経験でした。

ヘリコプター科学館では、ヘリコプターを操縦したり、飛び立つ時の風圧を受けました。日本では出来ないような体験をさせてもらいました。

5日目 ～茶畑 「大唐茶市」のリアリティ・パフォーマンス鑑賞～

午前中は、茶畑に行きました。そこは、標高が高く、風通しが良い場所でしたが、天気が良く、とても暑かった覚えがあります。一面茶畑が広がっていて、耕地面積が広い中国だからこそ作れる場所だなと思いました。

そして、この日の夜は、1番印象に残っている時間も過ごしました。「大唐茶市」というお祭りに参加しました。そのお祭りは、少し変わっていて、役者さん達が、中国の茶文化のストーリーを見て楽しみながら歩くというコンセプトです。鳥居が、いくつもあって、くぐる度に全く違うステージが用意されていました。セリフが全て中国語だから、分からない場面もあったけど、役者さんの演技や、アロバティックな技、そして盛り上げていた光景が、とても楽しかったです。

6日目 ～マーケット、上海へ移動～

中国のマーケットは、日本と違い、量り売りが多く、梱包されていない物がほとんどでした。茶葉も売っていて、マーケットに入った瞬間にとて良い香りがしました。

—感想—

中国は、日本に比べて空気がカラッとしていて、ジメジメしている日本より暮らしやすいと感じました。食べ物、辛いものが多い印象を持ちました。

この派遣事業から帰ってきてから他言語に、ますます興味を持ちました。

次は、中国語をマスターして、もう一度、中国に行きたいです。

そして、今回の事業で味えなかった、出会いや経験が、できると思います。

とても良い経験になりました。ありがとうございます。

中国景德镇市への派遣事業 報告書

学校名: 瀬戸高校

本事業への参加を希望した理由・きっかけ

- ・母親が旅好きで、母が1人旅をよくしていた頃の話をおさりとまから聞かされており、海外に行きたいという願望が強くなっていたから、
- ・日本とは違う文化などを経験してみたいから

実際に訪問して学んだこと、得たこと、感想など

食文化

食事の形式が日本とは違いどのレストランでも回る式の食卓でも驚いた。味付けは基本的に辛く、独特な香辛料が入っていて、食に対する感性がまったく違うことも知った。

街並み

日本と同じように栄えている都市はいても栄えているが農村部との差がすごい印象だった。市場みたいなどこでは活気であふれていて人生の初の値引き交渉を試みたりするなど新しい経験もできとても楽しかった。

陶器と陶磁器

景德镇市の陶磁器の歴史を学んだが、見ただけでは陶器と陶磁器の違いは分からなかったが、さわったりすると、重量や質感で違いがよく分かる楽しかった。陶磁器の歴史や作り方を学ぶことができた。

交流

中国の若青年との交流では地元の文化など様々なことについて教えてもらいとてもいろいろなことを知れてよかった。

期間を通して最初は不安や緊張でいっぱいだったけど、最終的にはとても楽しく充実した7日間になりました。

※不足する場合は裏面に書いてください

各駅に到着した。